

平成 16 年 3 月期 第 3 四半期業績の概況(連結)

平成 16 年 2 月 12 日

上 場 会 社 名 エア・ウォーター株式会社

(コード番号: 4088 東証・大証第一部 札証)

(URL <http://www.awi.co.jp/>)

代 表 者 役職名 代表取締役会長 氏名 青木 弘
問 合 せ 先 責 任 者 役職名 広報室長 氏名 岸 貞行 TEL (06) 6252 - 5411

1. 四半期業績の概況の作成等に係る事項

会計処理の方法の最近連結会計年度に : 無
おける認識の方法との相違の有無
連結及び持分法の適用範囲の異動の状況 : 連結(除外)4社、持分法(新規)1社

2. 平成16年3月期第3四半期の業績概況(平成 15年 4月 1日 ~ 平成 15年 12月 31日)

(1) 経営成績(連結)の進捗状況

(注)金額は百万円未満を切捨て

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	四半期(当期) 純 利 益
	百万円	百万円	百万円	百万円
16年3月期第3四半期	191,426	10,674	10,046	3,891
15年3月期第3四半期	-	-	-	-
(参考) 15年3月期	236,621	13,295	12,727	4,553

(注) 四半期業績の開示は当期より実施しておりますので、前年同四半期の実績は記載しておりません。
また、対前年同期比増減率の記載は省略しております。

	1 株 当 たり 当 期 純 利 益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
16年3月期第3四半期	25.69	23.59
15年3月期第3四半期	-	-
(参考) 15年3月期	29.62	27.24

[経営成績(連結)の進捗状況に関する定性的情報等]

当第3四半期におけるわが国経済は、輸出の増加と設備投資の持ち直しにより、緩やかな回復の動きを続けてまいりましたが、個人消費や雇用情勢の低迷、円高ドル安の進行など、景気の先行きは楽観を許さぬ状況で推移しております。

こうしたなか、当社グループでは主力ユーザーである鉄鋼、造船、自動車向けのガス供給が引き続き好調に推移したことと、エレクトロニクス分野が本格的な回復基調に入ってきたことにより産業関連全般が好調に推移いたしました。また、ケミカル関連事業でもPDP用マグネシウム単結晶及びタール蒸留品が好調に推移いたしました。

一方、医療関連では医療サービスの稼働遅れや大型医療機器が第4四半期以降へずれ込み、生活関連は戸建用システムバスの販売台数が減少し、いずれも厳しい状況で推移いたしました。

エネルギー関連では暖冬の影響を受けてLPG・灯油の販売数量が減少しましたが、概ね順調に推移いたしました。

総じて、当第3四半期業績は、計画を上回るペースで堅調に推移いたしました。以上の結果、売上高1,914億26百万円、営業利益106億74百万円、経常利益100億46百万円、当第3四半期純利益38億91百万円となりました。

(2)財政状態(連結)の変動状況

	総資産	株主資本	株主資本比率	1株当たり株主資本
	百万円	百万円	%	円 銭
16年3月期第3四半期	238,632	67,366	28.2	444.78
15年3月期第3四半期	-	-	-	-
(参考) 15年3月期	232,628	64,991	27.9	428.60

3.平成16年 3月期の連結業績予想(平成15年 4月 1日 ~ 平成 16年 3月31日)

	予想売上高	予想経常利益	予想当期純利益	1株当たり 予想当期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
通 期	265,000	14,100	5,400	35.24

[業績予想に関する定性的情報等]

当第3四半期の業績は順調に推移しており、景気回復の足取りからも産業関連のガス供給が堅調に推移するものと見込まれます。こうしたことから平成15年11月19日発表の通期の業績予想につきましては、当初の計画通り達成できるものと判断し、見直しは行っておりません。

上記の予想は現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後さまざまな要因によって異なる場合があります。